

■辰口信夫 アッツ島で玉砕、アメリカ軍が日記を発見して翻訳、米兵に感銘を与え、プロパガンダにも利用された。

たつくちのぶお

大逆事件判決1911＝ 広島市大手町で、医院経営する歯科医師の次男に生まれる。

明治天皇没・1912＝ 1歳：

大暴落・・・1920＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝ 10歳：

護憲三派圧勝1924＝ 13歳： 広陵中学に入学し、

長男が医師を継がずに音楽の道へ進んだことから、

世界恐慌・・・1929＝18歳： 優秀な成績で卒業すると、父の願いを受けて内科医と成るべく、排日運動の盛り上がるアメリカに渡航し、カルフォルニア州のカレッジに留学。この年、父が関係するキリスト教系の東京衛生病院が開院。

満州事変・・・1931＝ 20歳：

寄宿生活しながら勉学に励み、

五一五事件・1932＝ 21歳： 医学部進学課程を修了。初の唯一の日本人として、医療伝道者大学に進むが、

国際連盟脱退1933＝ 22歳： 父が急逝したため、休学して帰国。再入学が認められ、続いて母も死去する悲運にめげず、

信仰に支えられながら、学問を続け、

日中戦争始・1937＝ 26歳： 卒業。大学付属のホワイト＝メモリアル病院の当直医となって研修を続け、

健保+総動員 1938＝27歳： アメリカに赴任していた父の知人の牧師の娘で幼なじみの耐子と結婚。アメリカの医師免許を取得し、第二次大戦始1939＝ 28歳： 帰国。東京衛生病院に勤務直後、軍部圧力で外国人の医師・宣教師が国外追放となり、重責担うことに。

大政翼賛会・1940＝ 29歳： 兵隊検査で甲種合格。同僚のポール＝スター医師も帰米を余儀なくされ、

日米開戦・・・1941＝ 30歳： 最後まで残っていたオルソン医師も帰米。召集され、近衛師団歩兵連隊を経て、陸軍軍医学校に入る。

・・・1942＝ 31歳： *日本軍のアッツ島再占領に際して北海守備隊野戦病院要員となり、死を覚悟して出征。北千島で待機後、創価学会検挙1943＝ 32歳： *アッツ島に上陸。米軍が上陸した日から日記を綴り、わずか18日で日本軍とともに、玉砕し没した。

直後に日記を発見したアメリカ軍が翻訳し、米兵に感銘を与えるとともに、プロパガンダにも利用されることになる。

杉山正己「さよならまた会う時まで」、